



交流人口の拡大

高橋 光孝

**問** 千年希望の丘で、千人から1万人くらいの音楽フェスなどの開催は可能か伺う。

**復興・都市整備課長** 可能です。

**問** プロモーターへアプローチして、企業版ふるさと納税に協力いただき、岩沼宿泊の方にはバックヤードパスなどの特典を設けてはどうか伺う。

**建設部長** 提案をいただければ、できるものは支援をしていきたいと思えます。

子どもキャンプ場を利用

**問** ハナトピア岩沼の現行の条例で、キャンプ場としての利用は可能か伺う。

**農政課長** 現行の条例上は、キャンプ場としての規定がないので、キャンプ場として開放することはできないと考えています。

**問** 那須のキャンプ・アンド・キャビンズ那須高原は週末、GW、夏休み期間は大人だけのグループが利用できない子どもキャンプ場として、非常に静かで安全で、子どもたちの学習にも非常に役に立

つというところで、ここ数年人気を集めているが、そのような利用はできないのか伺う。

**市民経済部長** 条例等を変更するかどうかの前に、施設の必要性についてしっかりと議論があるのではないかと思います。その中で方向性が定まれば、必要な課題はクリアしていくということになりますので、その中で条例改正が必要ならば条例改正をするというような方向になります。

**問** この辺にそつという施設がなく、広い面積ではない分、逆に危険度も少なく非常にいい施設、いい活用方法はないかと思うが検討できるか伺う。

**市長** まずは（借地である、農業施設である、補助金の制限が切れるのが二、三年後などの）抱えている問題を早目に解決し、キャンプ場という発想は、将来的に見れば可能性としてはあるような気はしますが、さまざまな課題をクリアしないと次のステップには行けないという現状をよく理解いただきたいと思えます。

つというところで、ここ数年人気を集めているが、そのような利用はできないのか伺う。



若者の定住支援策

佐藤 一郎

**問** 仙台市長は、若者の地元定着を支援する仙台版給付型奨励金を創設し、支援する方針を打ち出している。31年10月から消費税が10%となる予定だが、若者の定住支援策の一環として、景気対策も兼ねて、商工会が発行する商品券を検討してはどうか伺う。

**総務部長** まずは定住をいただき、安定した生活をするため雇用の確保が大変重要です。岩沼市のまち・ひと・しごと創生総合戦略により地方創生の取組で、子育て支援や教育環境の充実、安全安心のまちづくりを中心に住みたいまち、住み続けたいまちを進めています。一時的な商品券などの支給による定住促進は、考えていません。

**問** 過去に若者世帯の低所得者向けの結婚世帯の助成金等があった。若い世帯が岩沼市に定住するため、新婚世帯の家賃助成制度として、商工会が発行する商品券を検討してはどうか伺う。

**総務部長** 岩沼市の魅力を感じて定住をしていただくという考え方で政策を進めていますので、家賃

の補助を行うなどの手法で定住促進は考えていません。

子ども医療費助成18歳に

**問** 子ども医療費助成は、現在中学3年生までとなっている。18歳、高校生までの拡大について、30年2月定例会の会派代表質問でも取り上げた。

**市長の公約に「子育て支援と教育環境の充実」とある。31年度の予算化の方向付けはどのように考えているのか伺う。**

**市長** 大都市のほうが財源が必要になるわけで、なかなか踏み切れない現状です。他市の状況も見ながら他と格差がないように考えます。18歳まで拡大していくと国からのペナルティーがあるという部分もあります。これらをしっかりと見て、医療費の助成については18歳まで拡大するかどうか考えていくべきと思えます。

◎その他の一般質問  
・貞山運河の活用